

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-3-4	事務事業名 ロビーコンサート事業	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	---------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 ロビーを使ってコンサートを行うことにより、日ごろ交流の少ない利用団体と市民の融和の場を設け公民館を知ってもらうことと同時に利用団体の発表の場にもする。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学習活動の推進(創3-2) (主要施策)公民館事業の実施
	実施内容、実施方法 音楽をとおして、人と人との交流を促し、新たな活力を得る。	根拠法令等
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 コンサート開催回数	活動指標の考え方(定義) ロビーコンサートを開催した回数
	成果指標名 参加人数	成果指標の考え方(定義) ロビーコンサートに参加した人数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		150	150	150	0
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		150	150	150	0
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	833
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	975	977	983	833
	単位当たりコスト (E)=(D)/(コンサート開催回数)	千円	974.60	977.30	245.70	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			4	4
	実績値	回	1	1	4	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			210	
	実績値	人	94	80	299	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	・子どもや、お年寄りの方も楽しんでいられて良かった。曲や楽器の説明もあり、親しみを感じた。・障がい者の演奏は、真剣さが伝わってきて感動した。・全演奏者のジョイントは楽しかった。・ホールでは、感じられない、音の魅力を肌で感じ取れた。
	国・都・他市・民間等における類似事業	ロビーコンサートの例はあるが、利用団体で実行委員会を作り、コンサートを運営をしている例はない。
	運営上の制約条件・外部要因等	実行委員会を作り、その中で、出演者の調整、運営の話し合いを行う。

コード 13-3-4	事務事業名 ロビーコンサート事業	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	---------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	平成3年から行っていたロビーコンサートであるが、途中視聴覚室で行うことが恒常化してしまっていた。フロアから演奏者の息使いを肌で感じながら、気軽に聴けるコンサートとして、ロビーを活用したコンサートを復活させたい。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	公民館の利用団体には発表会の準備等を通じた地域の連携の場として、そして、音楽に親しみたい市民には視聴覚学習の場としてコンサート活動を活用していきたい。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	プロの演奏家とのセッションを図ることで、利用団体の意識も触発され、演奏のレベルアップのための効果が大きい。利用団体の発表の場とすることで、予算増を伴わずにコンサートの回数が増加している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	プロの演奏を聴くだけでなく、公民館の利用団体へも出演をお願いし、開かれた場、交流の場としてこのロビーコンサートは利用されている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	公民館の利用団体が出演することで、地域住民が気軽に聴ける演奏会として定着、また出演者同士のジョイントもあり、団体相互の交流も深まることから、今後も実施する。

17年度における改善点	実行委員会を立ち上げそこを中心として、企画運営をする。音楽だけでなく、郷土芸能等も披露できるような場とする。音楽に親しみたい市民のためだけに開かれていたコンサート活動を発表したい市民やコンサート作りに参加してみたい市民に機会を提供していきたい。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。